

# メール一斉送信の事例(案)

どんな場合に「メール一斉送信」で連絡をするのか。安否情報まで確認するのか、今後学校で検討する必要があります。

事例として表の項目が考えられますが、全ての学校で同じ項目が適用されるわけではありません。よって、詳細は各校の危機管理マニュアルに沿って見直す必要があります。

項目	送信のみ	送信・返信 (安否確認)
・地震・津波等による甚大な被害が発生したとき		○
・通学区域に震度5強以上の地震が発生したとき		○
・岩手山の噴火警戒レベル4以上が発表されたとき		○
・通学区域に津波警報が発表されたとき		○
・通学区域に大雨・洪水・大雪等による避難指示が発令したとき		○
・県や市町村からの緊急指示があったとき		○
・インフルエンザ等による学校・学年・学級閉鎖が生じたとき	○	
・公共交通機関の不通(運休)が生じたとき	○	
・学校行事等の実施の有無や変更が生じたとき	○	
・不審者・危険動物等の出没等による生徒の安全確保のため、早く帰るまたは迎えに来てもらう等の事態が生じたとき	○	
・学校管理者が緊急を要すると認めた事態が発生したとき	○	(○)

# 研究のまとめ

## ●研究の成果

- (1) CMSの特徴でもある簡単に情報の発信ができることが実証されました。
- (2) 安否情報の書き込みなど、ユーザの端末から情報発信ができることが実証されました。
- (3) 双方向の情報発信が簡単にでき、非常に有効的だということが実証されました。

## ●今後の課題

- (1) 「NetCommons®」からの携帯電話のメールアドレスにメールを一斉送信した場合に不達になる場合があります。原因として、次のことが考えられます。
  - ・レンタルサーバに「NetCommons®」を構築する際、メールサーバの送信制限容量を超えてしまい、送信ができない場合があります。
  - ・携帯電話がコンピュータからのメールを受信拒否の設定になっている場合があります。
  - ・携帯電話各キャリアで同一のメールサーバから一斉に送信されたメールを拒否する制限をかけているため、受信できない場合があります。(NTTdocomoとauでは、1SMTPセッション(1送信)あたり100件まで、SoftBankでは24時間以内に500件以上で制限がかかります)
- (2) 緊急時に安否情報を収集するためには、平常時から操作に慣れておくことが重要となります。
- (3) メールアドレスなど、個人情報の取り扱いの管理を適切に行う問題もあります。
- (4) 大規模な学校で緊急情報をメール一斉送信する場合は、ネットコモンズの他にメール一斉送信システムの併用も考えていかなければなりません。

研究の内容について詳しくはこちらをご覧ください。  
<http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/research/h24/index.html>

研究主題

# 学校におけるインターネットを活用した 情報提供等の充実について —「NetCommons®」を用いた学校情報共有サイトの活用—

【研究担当者】 情報教育担当 奥田 昌夫 米川 聡 石川 修司 小野寺秀樹  
 平賀 弘典 多田 拓章 鈴木 勇二

【この研究に対する問い合わせ先】

TEL 0198-27-2254 FAX 0198-27-3562  
 E-mail johor@center.iwate-ed.jp

# 研究の目的

近年、学校からの情報発信、開かれた学校づくりが求められており、インターネットを活用した学校と保護者、児童生徒等を結ぶ情報交流基盤の充実が急務となっています。さらに平成23年3月11日の東日本大震災津波以来、緊急連絡用として活用の検討も求められています。

県立高等学校、特別支援学校では平成14年4月より運用している「いわて教育情報ネットワーク」において、各校に学校ホームページを開設して情報発信を行っています。一方、小学校、中学校では学校ホームページを開設していないケースや、開設しても数ヶ月から数年更新していない事例も散見されます。また、緊急連絡用としてのインターネットの活用に関しては、各学校毎に対応を模索している状況にあります。

そこで、インターネットを活用した情報の共有を推進するために、県立学校には緊急連絡用としての利活用について提案し、小中学校には学校ホームページや緊急連絡用にも活用できる学校情報共有サイトの活用を提案します。

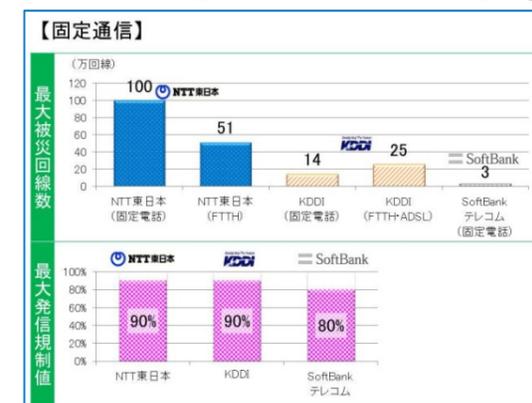
この研究では、インターネットを活用した効果的な情報発信事例の収集、「NetCommons®」を用いた学校情報共有サイトを構築し、簡単に情報を発信・更新を行うための仕組みづくりに関する提案、必要な情報を安定的に提供するためのインターネット活用手法の検討等について行いました。

# 東日本大震災の通信インフラへの被害状況

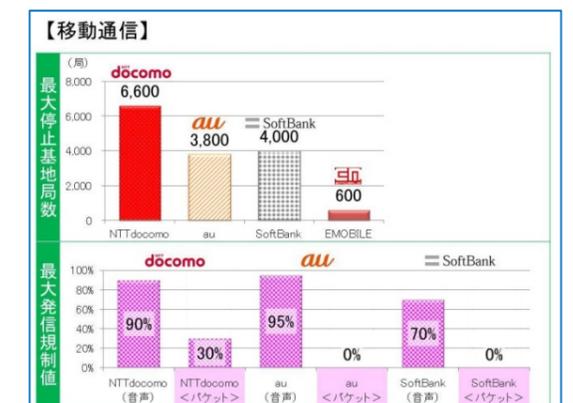
東日本大震災津波による通信インフラへの被害が生じた原因として、津波による携帯基地局の倒壊や停電によるバッテリー切れ、ケーブルの切断や電柱倒壊、NTT局舎の倒壊などがありました。

固定通信の被災状況は、NTT東日本の固定電話で最大100万回線が不通となりました。また、通信集中による発信規制も行われ、各社80~90%の規制が掛けられました。【図1】参照。

移動通信では、NTTdocomoがピーク時で6,600の基地局が停止しました。その後、発信規制が行われました。音声では70~95%の規制が掛けられましたが、パケット通信には規制が殆どなく、メールの方が疎通しやすい状況でした。【図2】参照。



【図1】東日本大震災における通信の被災・輻輳状況(固定通信)



【図2】東日本大震災における通信の被災・輻輳状況(移動通信)

## お知らせ

### 携帯電話からのアクセスについて

- 携帯電話による閲覧には通信料が発生する場合があります。
- 通信料は携帯電話契約者(個人)の負担になります。
- 通常はテキストを閲覧する設定で接続してください。
- 定額制等の契約をしていない場合は「フルブラウザ」や「HTML」の設定

ワープロ感覚で文章を入力できます

## 日誌

2012/12/04 収穫祭 | by:300a上長山\_主担

12月4日(火)に収穫祭を行いました。保護者の方々のご協力のもと、収穫したもち米で餅をつき、お世話になった地域の方々を思い、日頃の感謝の想いを伝えました。ちなみに、今年の「あんこ」は、3・4年生が育てた小豆からじっくり煮詰めて作りました。やっぱり手作りの味は最高！ 大好評でした。



日誌やブログなどを入力できます

# Net Commons®とは

- 国立情報学研究所が開発した次世代型情報共有基盤システム
- オープンソースソフトウェアのため無償提供
- HTMLを用いず、ブラウザで管理・運用
- ワープロとデジカメの操作ができれば、誰でも利用可能
- 部品【モジュール】が用意されているので、サイト作成も簡単

## カレンダー

	日	月	火	水	木	金
1週	27	28	29	30	31	1
2週	3	4	5	6	7	8
3週	10	11	12	13	14	15

行事予定などが入力できます

## キャビネット

フォルダ	名前	サイズ	作成者
各種様式	H240416説明会		管理者
	H240518研修会		管理者
	H240904研修会		管理者
	NetCommonsアンケート		c_多田拓章
	委員会から		管理者

グループ内でファイルを共有できます

## 掲示板

職員にお知らせ[根記事一覧]

新しい話題の投稿 | フラット表示へ

【最終連絡】研修旅行団 続報(0件)	管理者	201
【緊急】研修旅行団 続報(0件)	管理者	201
【緊急】研修旅行団 続報(0件)	管理者	201
【緊急】関西コース旅行団 続報(0件)	管理者	201
【緊急】沖縄コース旅行団 続報(0件)	管理者	201

情報の共有ができ、設定によってはユーザのアドレスにメールを一斉送信できます

## 登録フォーム

以下の項目を入力して[決定]ボタンを押してください。  
\*印の項目は必須入力項目です。

学年\*  1学年  2学年  3学年

クラス\*  1組  2組  3組  4組  5組  6組  7組  8組

氏名(漢字)\*

身体状況\*

詳しい身体状況

現在の居所\*

ユーザからの情報を収集できます

## クラウド環境での構築・運用

これまで、学校からの緊急連絡や教職員、生徒の安否確認は、電話連絡網を中心に行われていました。しかし、東日本大震災津波では、通信インフラが破壊され、その後、大規模な停電も発生しました。そのため、電話連絡網は使用できず、自宅訪問などをして安否を確認しました。

そこで、今回提案したのがクラウド環境にNetCommons®を構築して運用することです。これによって、学校は複数の連絡手段を手に入れることができるようになります。

### クラウドコンピューティングとは

データやソフトウェアの所在を意識することのないインターネット上のサーバ、すなわち「クラウド(雲)」の中に移し、必要に応じて取り出すことが可能なこと。

### ●メリット

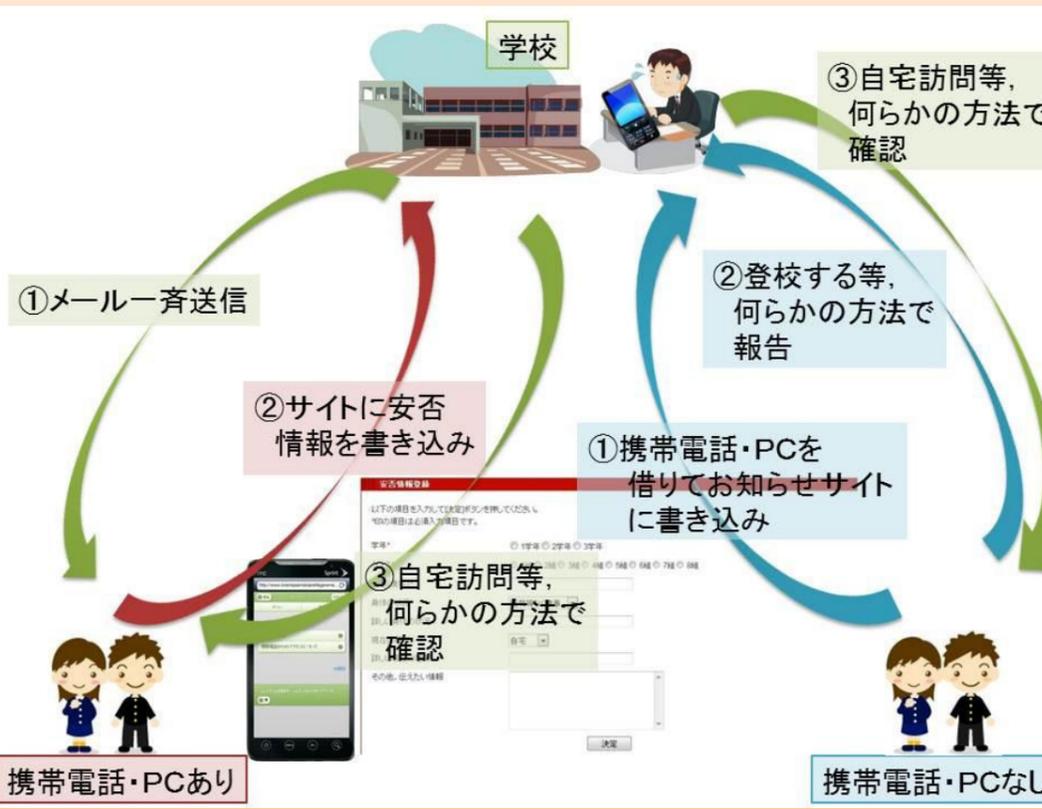
- 災害時等でも、データセンターが被災しない限り運用することができます。

### ●注意点

- クラウド環境(外部サーバ)でNetCommons®を運用する場合、以下の点などに注意する必要があります。
- サーバが冗長化(システムに何らかの障害が発生した場合に備えて、予備装置を平常時からバックアップとして配置し運用しておくこと)されていること。
- 個人情報の管理やセキュリティ管理がしっかりされていること。

## 緊急連絡サイト【学校お知らせサイト】

### 緊急連絡・安否確認の方法



## 学校ホームページ

メニュー

- トップページ
- 伊豆町教育委員会
- 伊豆小学校
- 七ツ森小学校
- 上長山小学校
- 下長山小学校
- 西根小学校
- 御明神小学校
- 橋場小学校
- 大村小学校
- 校外生活
- 行事予定
- まなびフェス
- 南畑小学校
- 安庭小学校
- 伊豆中学校

ようこそ

since 2012/03/19

住所 〒 020-0573 岩手県伊豆町南畑第14地割2  
電話番号: 019-695-2730 FAX: 019-695-2731  
E-mail: ohmura@educet.plala.or.jp

大村小学校の様子

1 2 3 4 5 次 ▶ カテゴリ選択 ▼ 5件 ▼

2013/01/31 橋場小学校との交流学習その2 | by:800a大村小\_主担

1月28日(月)に橋場小学校の皆さんが大村小学校に来てくれました。3校時は学級別に教科学習。4校時は全員で体育。給食も一緒にいただきました。昼休みは、どっさり積もった雪山で遊び、学校中に元気な声が響きました。

【1, 2年生生活科】

【3, 4年図画工作科】